

殺虫剤

ラビキラー[®] 乳剤

MEP 40.0%
 PAP 10.0%

種類名/MEP・PAP乳剤
 農林水産省登録/第15803号
 毒性/劇物
 有効年限/3年
 危険物表示/4-2石
 包装/500ml×20

特 長

- 果樹のカミキリムシ類などの防除剤として優れた効果があります。
- 有機リン剤のスマチオンとバプチオンを配合することにより、安定した防除効果を示します。

適用害虫と使用方法

使用にあたっては必ずラベルを読んで下さい。

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10a 当り 使用液量	使用時期	総使用回数*	使用方法
みかん	ゴマダラカミキリ	200倍	200～ 350 ℓ	産卵初期～ 幼虫食入初期 但し、 収穫14日前まで	本剤 1回 MEP剤 5回 [樹幹処理は1回] PAP剤 2回	樹幹部から 地際部へ 散布する
りんご				産卵初期～ 産卵最盛期 但し、 収穫30日前まで	本剤 1回 MEP剤 3回 PAP剤 2回 [樹幹散布は1回]	
ぶどう	ブドウトラカミキリ	200～ 300倍		発芽前 (休眠期)	本剤 2回 MEP剤 4回 [収穫終了後から 萌芽までは2回、 萌芽後は2回] PAP剤 2回	母枝、古つるに 薬液を十分 散布する
もも	コスカシバ	200倍		落葉後～発芽前 (休眠期)	本剤 1回 MEP剤 6回 [樹幹処理は1回] PAP剤 1回	樹幹及び主枝に 十分散布する
おうとう					本剤 1回 MEP剤 2回 [樹幹処理及び灌 注処理は合計1回] PAP剤 1回	
うめ					本剤 2回 MEP剤 2回 PAP剤 2回	

使用にあたって

■使用上の注意

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。



- 本剤は自動車、壁などの塗装面、大理石、御影石に散布液がかかると変色するおそれがあるので散布液がかからないように注意してください。



- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。

- ①ミツバチの巣箱およびその周辺にかからないようにしてください。
- ②受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけてください。
- ③関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。

■混用・薬害

- 石灰硫黄合剤、ボルドー液との混用はさけてください。
- ぶどう、もも、おうとう、うめに散布する場合、使用時期が遅れると新芽、新葉に薬害を生じるおそれがあるので、必ず休眠中に散布してください。
- みかん、りんごのゴマダラカミキリに使用する場合、散布液が葉にかかると薬害を生じるおそれがあるので、かからないように樹幹部から地際部へ散布してください。
- 他の農作物の葉にかかると薬害を生じるおそれがあるので、付近にある場合にはかからないように注意して散布してください。



■毒

- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。

■水産動植物への注意

- 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。養殖池等周辺での使用はさけてください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

■安全使用上の注意

- 医薬用外劇物ですので取扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐かせないで、直ちに医師の手当てを受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には、直ちに医師の手当てを受けてください。
 - MEPの解毒剤としては硫酸アトロピン製剤およびPAM製剤が有効であると報告されています。PAPの解毒剤としては、動物実験で硫酸アトロピン製剤が有効であると報告されています。
 - 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けてください。
 - 本剤は皮膚に対して刺激性があるので、皮膚に付着しないように注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
-   ●散布の際は防護マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
 - かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
 - 危険物第四類第二石油類に属するので火気には十分注意してください。

■貯蔵上の注意

- 密栓し、火気をさけ、直射日光のあたらない鍵のかかる低温な場所に保管してください。

本資料の記載内容は2024年7月25日現在の登録内容に基づいています。